

Q：地層の観察をしたいのですが、近くに露頭がありません。どうしたらよいですか。【6年】

A：視聴覚教材を活用しましょう。

○動画や写真教材を使う

動画や写真教材を使うことが考えられます。ただし、先生がその露頭や地層を実際に見た体験があることが大切です。教科書や市販の写真教材を使うこともできますが、先生が実際に見た地層の方が臨場感をもって正確に説明できます。普段から意識し、写真を撮る機会を逃さないようにしましょう。



伊豆大島

【参考文献】

改訂 新・千葉県地学のガイド，続千葉県地学のガイド（コロナ社）
千葉の自然をたずねて（築地書館）
房総半島の地学散歩－海から山へ（第一巻・第二巻）（千葉日報社）

○校外学習や遠足のルートに観察ポイントを設定する

校外学習や遠足のルートに観察ポイントを入れたり，または，あらかじめ設定されたルート上から観察ポイントを探してみましょう。小さくても観察できる露頭は数多くあるものです。地層の名前や特徴は，本やインターネットで調べられる場合もあります。

事前の下見を十分に行い危険な場所を確認し，児童の安全を確保しましょう。また，下見の時に，観察ポイントに表示板などを設置しておくとお観察しやすくなります。

○身近なものを教材化する

ホテルのロビーやデパートのエントランスなどのよく磨かれた大理石の壁面に，化石が見えることがあります。これも立派な教材になります。

アドバイス：

勤務校の近くに露頭がないとき，露頭が近くにある学校の先生や，近隣の高校の地学の先生に連絡をとって，情報提供をお願いしてみることも考えられます。また，博物館などでも化石などの教材を貸し出してくれることがあります。

【参考HP】

千葉県立中央博物館

<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

地質図のホームページ（産業技術総合研究所 地質調査総合センター）

<http://www.gsj.jp/geomap/index.html>